



# Chitose Rotary Club

佐々木会長テーマ  
“心ひとつに”

会長 佐々木 金治郎 副会長 大西 信也 幹事 佐藤 晴一  
会長エレクト 今村 静男 会計 酒井 宏  
第2510地区ガバナー 佐々木 正丞 第7グループ・ガバナー補佐 古川 大之

～ 8月は会員増強および拡大月間 ～

本日の例会 (8月20日 第8回) 夜間移動例会 (市民納涼盆踊り大会) 担当: 新世代・ローターアクト委員会  
～グリーンベルト～

## 2010年～2011年度 第6回 (通算2125回) 例会報告

日時: 2010年8月5日 12:30～13:30  
場所: ANAクラウンプラザホテル千歳  
プログラム: 通常例会 (ゲスト卓話)  
担当: 国際奉仕委員会  
司会: SAA・プログラム副委員長 宮本 伸司

## 四つのテスト



出席・資料管理副委員長  
浅利 美恵子

## 本日のお客様



国際ロータリー2510地区世界社会奉仕委員会  
委員長 手塚 貴志 様 (左)  
副委員長 田口 廣 様

## 会長挨拶

会長 佐々木 金治郎



本日は、先ほど副会長からもお話がありました通り、国際奉仕委員会担当の講師卓話の例会です。講師として、RI第2510地区世界社会奉仕委員会委員長の手塚貴志様、副委員長の田口廣様がお見えになっています。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。また、先週の例会では、村上会員のご子息である村上祐資様の卓話をいただきました。大変良い例会になったと思います。村上会員、どうもありがとうございました。

悲しい報告になりますが、当クラブ曙会員のお孫さんがお亡くなりになりました。お通夜に私と佐藤幹事で行ってまいりました。内輪の式にしたいということで、会員の皆様にはご連絡は申し上げませんでした。どうか、その心を察してあげていただきたいと思ひます。曙会員は力を落されておりました。そのうち例会に出席されると思ひますが、皆様のお力添えの言葉をかけていただければと思ひます。

また、8月4日に今年の7月から入会された佐藤彰二会員のお見舞いに、佐藤幹事と行ってまいりました。大変お元気な様子で、10月頃には退院して例会に出席したいということをお伝ひしてほしいとのことでした。

新年度に入りまして1カ月が過ぎました。私もこの1カ月の経験を振り返りながら、後11カ月を頑張っていきたいと思ひますので、会員の皆様もよろしくご協力のほどをお願ひ申し上げます。

幹事 佐藤 晴一



来週の8月12日の例会は、休会となっています。お気を付け下さい。また、その翌週19日には木曜会のコンペが開かれ、曜日は違いますが金曜日の20日が盆踊り例会となっています。先日アクトからご購入されたチケットを忘れずに持って参加していただきたいと思います。26日は会員増強委員会担当の例会になります。事務局の伊藤さんは12日から17日まで休みになりますのでお気を付け下さい。

また、本日クラブ計画書および報告書をお配りいたしました。ご確認いただきたいと思います。この作成に当たりましては、酒井会員と事務局の伊藤さんに本当にお世話になりました。ありがとうございます。

事務局に社会福祉協議会よりチャリティーパークゴルフ交流会の参加募集が届いています。ご興味のある方は、事務局へ申し出て下さい。

## ゲスト卓話 2010-2011年度地区世界社会奉仕活動について

国際奉仕委員会 副委員長 菅原 正行



本日の講師であります、手塚貴志様をご紹介します。手塚様は1954年5月17日生まれでございます。職業はアビロード代表取締役社長です。白老ロータリークラブに所属され、入会されたのは2001年1月1日です。クラブ役職としては、2003-2004年度に幹事、2006-2007年度に会長を務められています。地区委員としては2005年度から2008年度まで国際友好委員会委員、2009-2010年度は世界社会奉仕委員会の委員、2010-2011年度は委員長を務められています。本日は、2010-2011年度の地区世界社会奉仕活動について、これまでの活動経験を踏まえ、ご説明をしていただく予定です。それでは、手塚委員長様、よろしくお願いいたします。

国際ロータリー第2510地区世界社会奉仕委員会  
委員長 手塚 貴志 様



世界社会奉仕委員会の活動をご紹介します前に、釈迦に説法だと思えますが、世界社会奉仕委員会、WCSとは何かということの説明したいと思います。WCSは、World Community Serviceの略で、僕は初めて聞いた時には貿易会社の委員会みたいな感じだなと思ってました。去年か

ら委員になったのですが、中に入ってみるとやっぱりその通りでして、地区の海外事業部といった感じで海外の支援をするという委員会です。

### WCSの目的

WCSの目的は、援助を必要としている人たちの生活の質を国際奉仕を通じて高めるといことです。ですから、相手国のみなさんの生活の質を高めることが目的になります。また、基準というのもありまして、プロジェクトが人道的な性質なものといことです。もう一つは、2カ国以上のロータリアンが必ず関与すること、つまり相手の国にロータリークラブが無ければだめですよといことです。ですから、中国やアフリカの一部の国のように、ロータリークラブがないところではWCSとしては支援事業をすることはできないといことになります。なぜかといと、人道支援といのは非常に難しいところがあつて、お金を送ってもそれがストレートに我々が思っている事業に使われるのは非常に難しいのです。ですから、信頼のおける仲間がいるロータリークラブがある国で行うといことになります。また、このプロジェクトは2カ国のロータリークラブが共同して行うのですが、どちらかの国の場所で行うといことです。2カ国が共同して全く別の国で行うといことは、WCSとしてはできません。そういう活動は、別の活動になります。それから、プロジェクトに参加することには非常に意味がありまして、一つには国際理解と親善を推進とする大きな目的があります。それから、世界的な問題に取り組むといこともあります。国際理解と親善といことは、ただお金や物資を送って支援したよといのでは駄目だといことです。基本的には現地へ行って、向こうのクラブと友好と親善を深めて、お互いの国のいろいろなことを理解し合うといことが、非常に大事なことです。これから説明するのは、相手の国に行つてどんな事業をやつたかといことを確認してくる検証事業ですが、プロジェクトの進展を監督・評価するといことです。よく聞かれることに、なぜタイなのかインドネシアなのか、もっと困っている国があるのではないかと、いことことなのですが、今言つたような理由の中で、相手国にロータリークラブが無くてはいけないといこと、また我々が検証できるといことも非常に大事です。そういうことを踏まえながら、聞いていただきたいと思つています。

### 2009年の検証ツアーの様様

2009年2月に検証に行つたのですが、事業としては前年度に行つています。まず、インドネシアのジョグジャカルタで、寝具・浄水器・図書事業を行いました。ジョグジャカルタの孤児院では、コンクリートの床に直接ござを敷いて寝ているといことでした。温かいところなのですが、やはり、コンクリートの床はごつごつしていますので、ここにマットレスの寄贈事業を行いました。厚さ5cmのマットレスなのですが、事業費が5万円で約30人分の寝具を寄贈することができました。孤児院の子供たちの大半は、地震と津波で親と家をなくした子供たちでした。また、文具のプレゼントでは中に「人」と書いたノートがあるのですが、これは砂川ロータリーさんが、約500

冊の手作りのノートを作って、いろいろな絵を描いたりしたものプレゼントしました。

孤児院の左側に井戸があるのですが、井戸の中は非常に濁った水で、これを直接飲んで健康を維持することはできないということで浄水器を寄贈しました。また、スマートさんという人が移動図書館ということでバイクであちこちに図書を運ぶというボランティアを行っているのですが、それを支援するための事業も行いました。これは千歳セントラルRCさんに資金を提供していただきました。

## 2007年の検証ツアーの様相

2007年2月にはタイのチェンマイのチェックダム事業の検証に行っていました。この時は、酒井パストガバナーも一緒に行きました。現地で行った引き渡しセレモニーには、チェンマイの総領事である横田さんが出席してくれました。この方は、事業を進めるに当たって、非常に熱心に協力してくれまして、現地に赴いて一緒に作業もしていただきました。チェックダムというのは、小さい堰をたくさん作っていく事業で、セメントと砂、そして近辺にある資材、ここでは竹がたくさんあるので竹を使っています。一つの沢に100個くらい作って鉄砲水を防止するというものです。その沢が無数にありますので、この要請は非常にたくさんあります。この事業費は、クラブが5万円、地区が5万円で約10万円の事業費で、80~90個のダムが作れます。なぜこんなに安くできるかというと、向こうでは学生さんの徴兵制度があって、徴兵された学生さんが訓練の一環で砂・セメントを袋に入れて山に登って作るということです。水が無いところでは、給水車をできるだけ近くまでつけて、水もかついで持っていくということです。これは、マッチンググラントという手法で、補助金の出所が違っていて、お金を送っただけでは駄目だよ、自分たちも労力奉仕をなささいということにして、現地で半日ほどダムを作る事業を行ったということです。

## 2010年の検証ツアーの様相

タイのノンカイ地区の浄水器事業の検証には、今年の1月7日から11日にかけて行ってきました。渡邊ガバナーを団長として行ってきました。何かお土産を持っていこうということで、三石ロータリーさんの提案で雪だるまをもっていこうことになったのですが、南国の40℃近いところに雪を持っていくので大変でした。発泡スチロールにドライアイスを入れてその中に雪だるまを入れていきました。バンコクの空港で乗り換えるときに引っ掛かりまして、発泡スチロールの中が冷たくて外は暑いということで、発泡スチロールに汗をかいたよう水滴がついて、他の人のバッグを汚すから駄目だと言われました。全部ぐるぐる巻きにしるということになり、大変な思いをして持って行きました。

1月8日の午後から2日間で13か所ほど回り、一つ目の学校では日本の国旗とタイの国旗で出迎えていただきました。渡邊ガバナーから雪だるまが贈られたのですが、初めて雪を見るわけですから、大騒ぎということになりました。三石ロータリーの方は無事に届いたということで、非常に喜んでいました。クラブか

ら10万円、地区から10万円、現地のロータリーから5万円ということで、25万円で立派な浄水器ができます。浄水器の内部はステンレスで、中にフィルターが何層も入っているものです。フィルターは水を濾しているうちに傷んでくるのですが、それは向こうの教育委員会などがメンテナンスを行うという約束です。

2つ目の学校ではお礼のダンスを見せてもらいました。子供たちが一生懸命踊ってくれました。ここでは、白老ロータリークラブが30周年記念事業ということで浄水器を寄贈しましたので、学校から感謝の盾をいただきました。

当日の夜8時からホテルに戻って、現地のロータリークラブとの懇親会が始まりました。僕たちは「朝5時ころに起きてきました」という話をしたところ、「私たちは準備に今朝の3時までかかりました」ということで、全部手作りで、紙を切り抜いたり、風船などを並べたりなどして、飾り付けを自分たちでやって下さったということでした。大変心のこもったおもてなしでした。

翌日9日の朝は5つめの学校に行きました。垂れ幕や、花、カーテンなど大変な準備をして出迎えてくれました。ここでは、マッチンググラントという手法で共同で事業をしています。また、ここでは小学校の5、6年生が授業で習うタイ舞踊を、選ばれた生徒が披露してくれました。ここでは、田口さんが函館RCから預かった手製の紙芝居をプレゼントしました。

13校全部を回り、当日の夜は現地のロータリークラブと懇親会をしようということで、1時間ほど走ったところにあるロータリークラブと懇親会を行いました。非常に楽しい懇親会で、理解と親善を深めるということにつながりました。

## 地区WCSの現状

さて、去年とその前年の地区のWCSの事業をまとめてきましたので、紹介したいと思います。一昨年は、タイのウオンカイ地区に浄水器の事業を6つのクラブで行いました。タイのチェンマイにはチェックダムの事業が4クラブ、浄水器の事業が1クラブ、札幌西北RCさんが我々の委員会とは別に単独でチェンマイで事業を行っています。また、インドネシアには孤児院の浄水器と移動図書館事業で合計9つの事業を行いました。スリランカには岩見沢東RCが黒板の寄贈事業を行っています。モンゴルには、札幌大通RCが寄贈図書事業を行っています。参加率は、73クラブのうち23クラブですので、31.5%でした。

昨年の事業は、タイのノンカイ地区の事業に13クラブが参加していただきました。タイの移動歯科の事業には4つのクラブが参加しました。タイのチェンマイには浄水器と図書館、スリランカとモンゴルにはそれぞれ岩見沢東RCと札幌大通RCが事業を行っています。昨年の実績としては、参加クラブが28に増えまして、参加率は38.4%でした。

来年は、千歳ロータリーさんも期待しておりますので、是非参加していただきたいと思います。事業の募集は今月いっぱい、9月に地区で決めたいと思っておりますので、千歳さんにも是非参加していただきたいと思います。

## 加藤武仁会員の卒寿のお祝い

8月2日に満90歳を迎えました加藤武仁会員の卒寿をお祝いするセレモニーが、8月5日の例会前に行われました。佐々木会長から、加藤会員の長寿をお祝いする挨拶の後、記念の花束が贈られました。その後、加藤会員から会員の皆様へ感謝の挨拶がありました。また、加藤会員からのお返しとして、ミヤマキリシマの苗が出席者全員に配られました。なお、当日の例会に出席できなかった会員にもミヤマキリシマの苗をお配りしますので、ご希望の方は事務局までお知らせください。

### 佐々木会長からのお祝いの言葉

加藤会員が8月2日に90歳のめでたい誕生日を迎えられました。本当におめでとうございます。今日は加藤会員から、お世話になっている会員の皆様へ植木を差し上げたいということで、ミヤマキリシマの苗が用意されています。どうか、皆様で育てていただき、植木を見ながら加藤会員の卒寿を祝うとともに、加藤会員の健康にならって、これからもロータリー活動を行っていただきたいと思います。90歳、本当におめでとうございます。

### 加藤会員へお祝いの花束の贈呈



### 加藤会員からの挨拶



ただいま90歳のお祝いの言葉をいただき、本当にありがとうございました。今まで、人様から「おいくつですか」と聞かれた時は「90歳です」と答えていましたが、これはウソでした。8月2日に満の90歳になりました。どのようにお返しをしようかと考えて

いましたが、いつまでも「これは加藤君の記念の木だ」と思ってもらえるようにミヤマキリシマを九州から仕入れてまいりました。今日お持ち帰りまして、庭の隅にでも植えていただくと大きくなったら、「これは加藤が90歳のときに植えた木だ」と思い出していただきたいと思います。本当にありがとうございました。

### 出席率

今回：59.6% (8月 5日=34/57、実数)  
確定：68.4% (7月22日=39/57、うちメーカーキャップ0名)

### スケジュール

#### (8月のプログラム)

- 20日 (金) 夜間移動例会 (盆踊り例会)  
担当：新世代・ローターアクト委員会
- 26日 (木) 通常例会 担当：会員増強委員会

#### (ローターアクト例会)

- 20日 (金) 千歳市民納涼盆踊り出店  
グリーンベルト

### ニコニコBOX

#### 佐々木 金治郎 会長

過日千歳民報に、レイクサイドヴィラ翠明閣に池田料理長着任の記事がのっていました。翠明閣をよろしくお願いします。

#### 大西 信也 副会長

加藤さん、お花ありがとうございました。とりあえず、100歳までいて下さい。

#### 佐藤 晴一 幹事

手塚様、本日よろしく申し上げます。

#### 村上 倫行 会員

7月29日、息子(祐資)の卓話が実現できました。ありがとうございました。千歳民報さんにも掲載していただきました。

#### 川端 清 会員

8月3日免許更新のため、70歳からの高齢者講習を受けました。無事更新することができました。

#### 大澤 雅松 会員

手塚様、田口様ようこそ！卓話よろしく申し上げます。

#### 加藤 輝明 会員

7月27日、ちとせインターゴルフクラブで盛大に還暦祝いのゴルフコンペを開くことが出来ました。ありがとうございます。

本日のニコニコ集計 7人 12,000円